

くにたち

今月号では「鉄道の未来を拓く基礎研究」をテーマに特集を取り上げました。基礎研究について、皆さまはどのような印象をお持ちでしょうか？ 昨今では、昔に比べて技術開発のスピードがさらに速まり、新たな技術が日々実用化されていますが、基礎研究はその源流であり、あまり目立たないながらも研究成果を着実に積み上げていくことが今日の技術開発につながっているといえます。

これから我々が迎える社会に対応していくためにも、さらにその先の未来の社会の持続的な発展のためにも、基礎研究は今後も継続して行っていかなければならないと思います。当月号は、そんな思いも込めて、鉄道の未来につながる基礎研究にスポットライトを当てて紹介しました。

さて、次号の特集では「研究開発成果の社会実装」について特集します。鉄道総研がこれまで先行して取り組んできた水素燃料鉄道車両や省人化対応のための自動運転技術のほか、自然災害や安全輸送に関する技術に関する社会実装の取り組みについて紹介いたします。(K.O.)

RRR

ご注文は(一財)研友社へ
TEL: 042-572-7157
FAX: 042-572-7190
<https://www.kenf.jp/>

次号予告

2025年5・6月号 (Vol.82 No.3)

特集 研究開発成果の社会実装

*タイトルは変更する場合があります。

■鉄道総合専門誌■

JR gazette
JRガゼット 定価639円+送料88円
(ともに消費税込み)
年間購読料7,668円
(消費税込み+送料サービス)
鉄道事業各社の業務運営に供する

■ 4月号主要目次 ■

特集：コンプライアンス

連載等

- 鉄道の未来を創る研究開発
浮上式鉄道技術と将来に向けた研究
- Focus! JR
JR東日本 中央線快速・青梅線グリーン車
サービス開始

発行所
(株)交通新聞社
〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-3-11

図書のご注文は、
TEL 03(6831)6622
FAX 03(6831)6624

鉄道総研イベント情報

2025年
5月21日(水)

第375回 鉄道総研月例発表会
鉄道地震工学に関する最近の研究開発

日本工業倶楽部会館

2025年
7月17日(木)

第376回 鉄道総研月例発表会
信号技術および情報通信技術に関する
最近の研究開発

日本工業倶楽部会館

※詳細は鉄道総研ウェブサイトでご案内いたします。